



脱炭素社会に向けた市民会議

脱炭素社会に向け 真庭の未来を考えよう

脱炭素や再エネ推進を通じて地域に元気を

電力の地産地消で
脱炭素なくらし

2025/R7年3月13日(木) @真庭市役所 会議室

本日の流れ

テーマ：電力の地産地消で脱炭素なくらし

開会挨拶・自己紹介 	10分
市民会議について～振り返りと導入～	5分
講演1 地域に恵みをもたらす電力事業とは？ ー日本版シュタットベルケとしての地域新電力ー	各15分 +質疑
講演2 地域新電力会社おおなんきらりエネルギーの役割	
<休憩>	
 ワークショップ	} 50分
● 真庭市における地域新電力の構想について	
● 2つの小テーマについて考える	
● 意見やアイデア、感想の共有	5分
本日のまとめ	

19時00分頃終了予定です



自己紹介をしよう(一人一分程度)

- お名前、居住地域、年代/年齢 など
- 「地域新電力」という言葉を聞いたことがあるか？
- 今日 参加した理由は？
- 最近気になった「脱炭素/カーボンニュートラル」
にまつわるトピックスは？

【進め方】

1. 我こそはという方から

(決まらない場合は 今日「起きた時間」で一番早く起きた人から
右回りで)

脱炭素市民会議@真庭について

これまでの振り返りと今日の目標

脱炭素に向けた市民会議

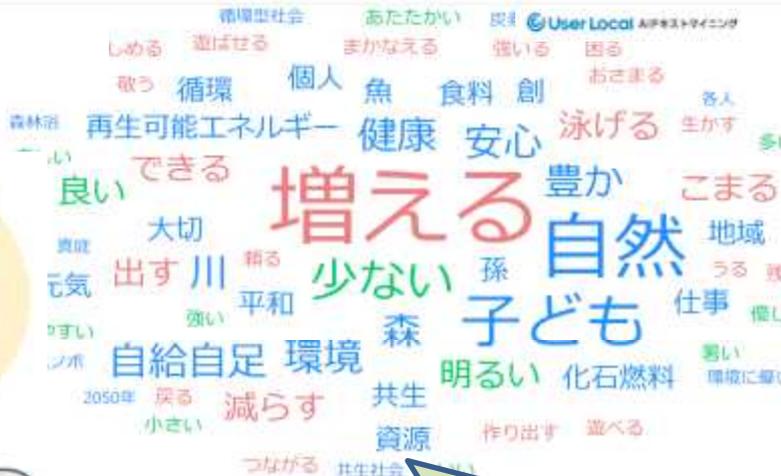
R4年度に5回、R5年度 3回＋番外編

やるべきことの
具体策



2050年の真庭市の姿

VISION



「2050年に、真庭市
が真庭市として**存続し**
ていてほしい」
(現役高校生)

第4回
12/14 (20名)
関係主体のアクションと連携

第3回
10/27 (22名)
真庭の現状と各種
対策・事例紹介

第2回
9/28 (26名)
アンケート結果
共有とアクション
検討

第1回
8/29 (32名)
国/市の施策と
市民が考える
市の将来の姿

第5回
2/9 (19名)
市への提言
案の検討



真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

Maniwa Civil Action

～みんなで挑む、シビれるアクション
地域をうるおす、ゼロエミッション～

2023年4月
真庭市



今年の市民会議では

- ✓ 具体的なテーマを設けて脱炭素と暮らしのつながりを考える

第1回 10/2 「ごみと資源」と「脱炭素」

第2回 1/20 「食と農」で 脱炭素な暮らし

第3回 3/13 「電力の地産地消」で 脱炭素なくらし

- ✓ 輪を広げるために、上半期に3地域でカードゲームを実施

9/2 in 落合 10名

9/10in勝山 14名

9/19in 蒜山 11名



第1回「ごみと資源」×「脱炭素」 10月2日



R6年度 脱炭素市民会議 第1回 真庭市役所環境課の資料より



引用：<https://www.env-study-hiroba.metro.tokyo.lg.jp/study/resource-circulation>

- 今までごみにしていたものを資源としてくり返し使う、無駄のない社会＝「循環型社会」
→製品だけではなく、「ごみ」全般に拡大 ➡「地域資源」

第2回「食と農」×「脱炭素」 1月20日

食と農の循環の中で
私たちにできることは
なんだろう



食の環境負荷の見える化

環境負荷低減の取組の推進

環境負荷低減の取組の「見える化」

生産段階における環境負荷低減の取組を評価し、星の数で消費者に分かりやすく伝える「見える化」の取組を進めています。

温室効果ガス削減への貢献

生産者の栽培情報を用いて、**定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定**し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定。

対象生産者の栽培方法
での排出量(品目別)
地域の標準的栽培方法
での排出量(品目別)

排出(農薬、肥料、燃料等)
-吸収(バイオ炭等)

100% - $\frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}}$ = 削減貢献率(%)

★ : 削減貢献率 5%以上
★★ : " 10%以上
★★★ : " 20%以上



対象品目: 23品目

米、トマト(露地・施設)、キュウリ(露地・施設)、ミニトマト(施設)、なす(露地・施設)、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、にんじん、大根、アスパラガス、リンゴ、温州みかん(露地・施設)、ぶどう(露地・施設)、日本なし、もも、いちご(施設)、茶

※括弧書きがないものは全て露地のみ

生物多様性保全への配慮 ※米に限る

生物多様性保全の取組の得点に応じて評価し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて表示。

<取組一覧>

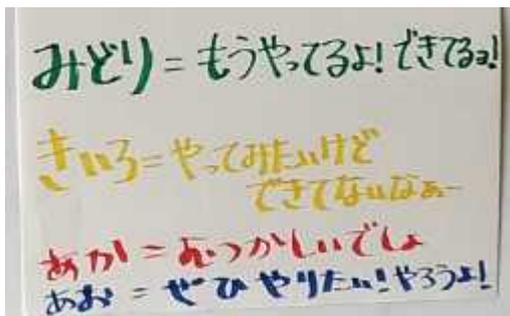
化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減(5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ : 取組の得点 1点
★★ : " 2点
★★★ : " 3点



Maniwa Civil Actionの 周知とチェック

(2023年11月23日@二川ミライエにて)



具体的な対策・施策・取り組み (続き)

2. 大規模災害時にも安心してエネルギーを活用できる体制の整備

	行政	市民	事業者
公共施設への再生可能エネルギー発電設備及び蓄電池の最大限の導入	●	○	○
公用車(普通自動車)の次世代自動車への転換	○	○	○
↳ EVシェアリングの実施・活用	○	○	○
自主発電設備の導入が困難な指定避難所への給電体制整備	●●●	○	○

3. 環境にやさしいライフスタイル・経営の実践

	行政	市民	事業者
■ 今から取り組めること			
ごみの減量の推進			
↳ 食べきれない量の購入(量り売りの利用など)や、保存方法を工夫する	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
旬の食材や地元産食材を極力選択する	○	○	○
ごみの分別、リサイクル等、資源の再利用化の推進			
↳ 特に生ごみ・資源ごみの分別の推進	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
↳ フードバンクへの寄付・てまどり等、食品ロスの削減	○	○	○
↳ 長く使えるもの、リサイクル品、環境に配慮した製品を選ぶ	●●	○	○
クールチョイス/クール・ウォームピズなどの取り組みの推進			
↳ マイバックやマイボトルを利用し、プラスチック等の“使い捨て”を減らす	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
↳ 紙の両面利用、ペーパーレス化や包装の簡素化等に努める	●●	○	○
↳ 無理のない範囲で節水・節電や過度な空調利用を控える	●●●●●	○	○
自転車や公共交通機関を利用する	○	○	○
エコドライブの実施やカーシェアリングを活用する	○	○	○

テレワーク・オンライン会議など働き方を工夫する	○	○	○
宅配ボックスの設置や通知サービスの利用など、宅配は1回で受け取る	●●●●	○	○
若年層からの環境教育の推進	●●●●	○	○
生産工程における温室効果ガス排出抑制に努める	○	○	○
植林やごみ拾いなど、環境保全活動へ参加する	●●●●	○	○
緑化を推進する	●●	○	○

	行政	市民	事業者
■ 購入・買い替え時や改修・リフォーム時に検討できること			
公共施設への再生可能エネルギー発電設備の最大限の導入【再掲】	○	○	○
公用車(普通自動車)の次世代自動車への転換【再掲】	○	○	○
市民・市内企業の省エネ化や太陽光・EV・蓄電池等導入の推進	○	●	○
EVの普及に向けた充電環境の整備	○	○	○
住宅・ビル等のZEH化、ZEB化や省エネ化への改修・新築の促進	○	○	○
雨水利用、工場排水の再利用等	○	○	○



ぜひやりたい！ やろうよ！

1 地域活性化の推進と地域課題の解決

- 地域エネルギー事業を実施する事業体の構築検討 ●●●● ○★
- 豊かな森林資源を活用した木質バイオマス発電所の増設の検討 ●● ○★
 - 森林の持続的経営体制の強化、林業・木材産業の生産性向上の取り組みの支援・担い手対策等を実施 ○★
 - 広葉樹の活用推進や耕作放棄を利用した早生樹栽培等の推進 ○★
- 二酸化炭素吸収源である森林の価値の顕在化 ●●● ○
- 生ごみの資源化と濃縮液肥の活用推進 ● ○★
- 省エネ製品の開発・製造・販売、導入促進 ○
- 畜産材を利用した製品の開発・販売 ○



4 再生可能エネルギーと地域の共生

- 再生可能エネルギーの導入に係る促進区域※の検討 ●
- FIT・FIP制度等との連携 ●●●●
- 再生可能エネルギー由来の電力へ切り替える ●●●●

※地球温暖化対策の推進に関する法律 第21条第5項 に規定する、再生可能エネルギーの導入に係る促進区域

5 情報発信によるシビックプライドの醸成と地域価値の向上



目指すは地域への還元とワクワク感アップ

脱元争米と連携し農家のリスクアブソルは取り組みを先信 ●●

地域に恵みをもたらす電力事業とは？

—日本版シュタットベルケとしての地域新電力—

岡山大学環境生命自然科学学域

(工学部都市環境創成コース)

教授 鳴海 大典さん

地域新電力会社 おおなんきらりエネルギーの役割

島根県邑南町役場 地域みらい課
係長 藤田 浩司さん



脱炭素社会に向けた市民会議

テーマ：電力の地産地消で脱炭素なくらし

講演者への質疑応答



脱炭素社会に向けた市民会議

ただいま休憩中

再開は 6 時 10 分です

真庭市における地域新電力普及に向けて

ワークショップ



グループワークの流れ

1. 真庭市における計画やその進捗を知ろう(5分)
 2. 小テーマに沿って、グループワーク
 - ① 地域エネルギーの利益をどのように地域に還元してほしいか？
 - ② どうすれば地域新電力に切り替えるか？
- 【個人ワーク → グループ共有 → 話題提供】**
3. 全体共有(10分)

真庭市における地域新電力会社の構想について

真庭市産業観光部 地域エネルギー政策課
課長 杉本 隆弘さん

テーマ1

地域エネルギーの利益をどのように
地域に還元してほしいか



グループワーク

テーマ1

地域エネルギーの利益をどのように地域に還元してほしいか

1. 個人で考えよう → 付箋に書き出す (3分)

考えるヒント:

- ・日頃の困りごと
- ・こんなのがあったらいいな
- ・自分、家族、地域の人たち
- ・今日の講演の内容

2. グループで共有 ※軽く分類してみる (8分)



地域サービスの選好調査(質問)

地域電力会社の収益を、市民生活に役立つサービスとして還元することを想定します。以下のうち、地域電力会社にしてほしい(あなたが利用したい)サービスはどれですか。○を3つまで、最もあてはまるものに◎をつけてください。

1. 買い物支援(買い物の付き添い・地域で使えるお買い物券など)
2. ご家庭・お店の掃除、また農作業のお手伝いサービス
3. 高齢者の見守り巡回
4. 健康づくりの教室開催や情報共有
5. 学童や放課後保育による保育のサポート
6. 地元農産物を利用したレストランや販売所を作る
7. 電気・水道・ガスを強化した災害避難所の整備
8. 電気自動車による交通サービス(巡回バスやタクシーなど)
9. 害獣や害虫(イノシシやカメムシなど)の駆除や対策
10. 若い人の定住や移住に向けた取り組み
11. 森林整備のための積立金
12. 森林更新のための苗の栽培
13. 何も利用したいものはない
14. その他【 】

テーマ2

どうすれば地域新電力に切り替えるか？



グループワーク

テーマ2

どうすれば地域新電力に切り替えるか？

1. 個人で考えよう → 付箋に書き出す（3分）

考えるヒント：
・切り替えたいか、
　　切り替えたくないか
・その理由は？

2. グループで共有（10分）

それぞれの切り替え意向と理由をきいて、
なぜ切り替えたくないのか、どうしたら切り
替えを考えるか、互いに話してみよう

3. 全体共有（準備3分、発表10分）



契約プランの選好調査(質問)

- ・切り替えたいか、切り替えたくないか
- ・その理由は？

あなたが選択したいと思う契約プランを1つ選んでください。

- ① 電気料金が安いプラン（電気料金最安）
- ② 地域の再生可能エネルギーを最大限利用できるプラン（再エネ地産地消）
- ③ 地域電力会社が提供する地域サービスを充実させるプラン（地域サービス）

各契約プランの特徴

項目	家計	地域経済	環境	安定性
項目の説明	各世帯が支払う電気料金	地域経済への貢献度	地球環境に与える影響	電気料金や企業存続の安定性
①電気料金最安	◎	×	×	△
②再エネ地産地消	△	○	○	○
③地域サービス	△	◎	○	○

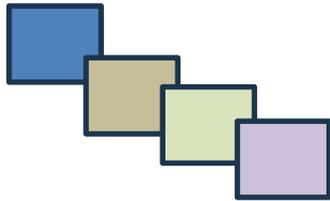


グループワーク

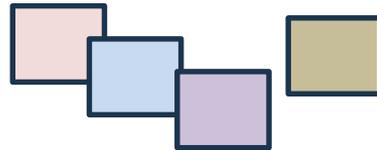
テーマ2

どうすれば地域新電力に切り替えるか？

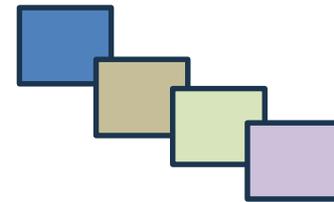
切り替えたい
押しポイント



乗り越える
アイデア

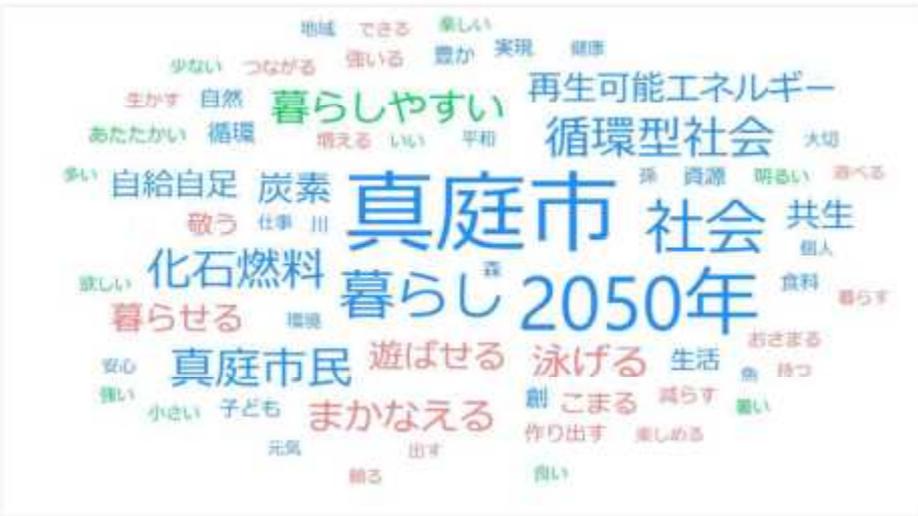


切り替えたくない
ひっかかりポイント

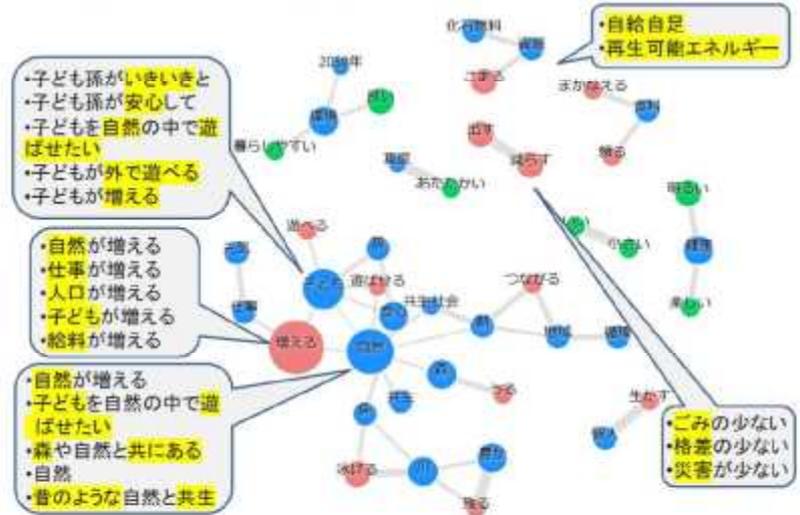


まとめ

市民会議議論の概要①：あるべき真庭市の未来像（魅力ある真庭市in2050）とは？



皆さんから出た「真庭市での暮らし in 2050年」



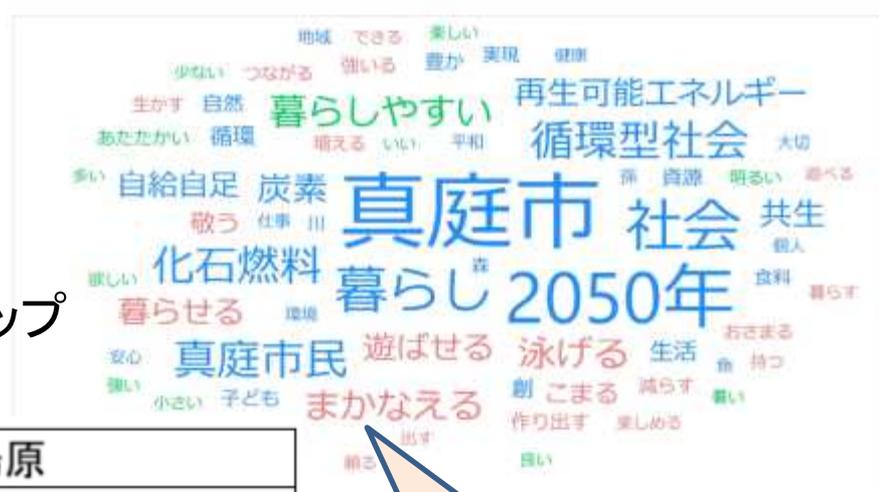
まとめると、...

① 豊かな自然との共生。 将来に渡って豊かな山・川・自然が残り、その恵みとともに暮らす、持続可能な暮らしを続けたい。

② 子や孫が生き生きと暮らせる社会を作りたい
⇒ 仕事/人口/給料/子どもが増える社会。 格差の少ない社会。

脱炭素社会構築で目指すもの 「地域循環」

脱炭素社会を目指すビジョニングワークショップ
2024年2月3日(久世) 4日(湯原)



	久世	湯原
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・QOL(生活の質) ・生き方・考え方 ・理想と現実 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な地域 ・不安のない未来 ・豊かな自然
望ましい未来像(抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・^{カーニュー}脱炭素ってオシャレ♡ ・共生社会 ・皆が笑顔で過ごせる ・自立と自律 ・役割がある ・其々の物語を尊重 ・対話力養成重視の教育 ・脱・学歴社会、資本主義、戦争 ・様々な人と交流・話ができる未来 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地が荒れない ・獣が人里へでない ・なんでもシェアできる社会 ・老いても生き生きした社会、高齢者が元気に ・田舎だからこそ AI・IT 活用 ・健康寿命が長く ・貧困がない ・ポジティブになれる教育 ・教育や年齢が理由で引越さなくてよい社会

「2050年に、真庭市が真庭市として**存続してほしい**」
(現役高校生)

「わたしとみんなが well-beingになるために 日常の中の脱炭素ムーブ」

「シェアリングで シェア(しあ)わせ 人とつながるまちづくり」

「脱炭素がゴールではなく、well-being、幸せになることが目的だと感じた」₂₉

地域にたくさんの「環」を広げていきましょう



今年度もご参加ありがとうございました

・ 脱炭素社会に向けた市民会議 会議記録 公開中

<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/14/66963.html>